

平成24事業年度

決算報告書

自：平成24年4月 1日

至：平成25年3月31日

国立大学法人新潟大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人 新潟大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,917	19,796	1,878	(注1)
施設整備費補助金	4,671	6,841	2,170	(注2)
補助金等収入	483	1,518	1,034	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73	73	-	
自己収入	29,676	30,728	1,051	
授業料，入学金及び検定料収入	7,129	7,039	89	(注4)
附属病院収入	22,109	23,207	1,098	(注5)
財産処分収入	5	-	5	(注6)
雑収入	433	481	47	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,094	5,949	2,855	
産学連携等研究収入	2,181	1,947	233	(注8)
寄附金収入	912	4,001	3,088	(注9)
引当金取崩	-	13	13	(注10)
長期借入金収入	3,189	3,122	66	(注11)
目的積立金取崩	-	-	-	
計	59,105	68,043	8,938	
支出				
業務費	45,016	45,222	206	
教育研究経費	22,163	22,946	782	(注12)
診療経費	22,852	22,275	576	(注13)
施設整備費	7,933	6,526	1,407	(注14)
補助金等	483	1,438	955	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,096	2,632	464	
産学連携等研究費	2,183	1,629	554	(注16)
寄附金事業費	912	1,002	90	(注17)
貸付金	-	2	2	(注18)
長期借入金償還金	2,573	2,507	65	(注19)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	2	-	2	(注20)
計	59,105	58,330	774	
収入 - 支出	-	9,712	9,712	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金収入については、平成23年度における退職手当など、前年度からの繰越額を決算額に計上しているため、予算額に比して決算額が1,878百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、国の平成24年度補正予算などによる新規事業の採択により、予算額に比して決算額が2,170百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、新規事業の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,034百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料免除を拡充したこと等により、予算額に比して決算額が89百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、新外来診療棟の完成に伴う患者数の増加の影響等により、予算額に比して決算額が1,098百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、好山寮跡地の売却を計画していましたが、購入希望者がいなかったことによるものです。
- (注7) 雑収入については、損害保険金受入、駐車場収入の増加等により、予算額に比して決算額が47百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入については、産官学連携推進に努めたものの、当初予定よりも受入が少なかったこと等により、予算額に比して決算額が233百万円少額となっています。
- (注9) 寄附金収入については、産官学連携推進に努めたこと及び前年度からの繰り越し額を決算額に計上しているため、予算額に比して決算額が3,088百万円多額となっています。
- (注10) 引当金取崩については、退職給付引当金の取崩によるものであり、退職金の支給が見込みよりも増加したため、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注11) 長期借入金収入については、事業の見直しなどに伴い借入額が少額となったため、予算額に比して決算額が66百万円少額となっています。
- (注12) 教育研究経費については、支出額に前年度繰越分が含まれているため、予算額に比して決算額が782百万円多額となっています。
- (注13) 診療経費については、高度先進医療に資するための設備整備事業等を翌年度以降に実施することとし、支出が減少したため、予算額に比して決算額が576百万円少額となっています。
- (注14) 施設整備費については、事業計画を変更し、翌年度に事業を実施することとしたこと等により、予算額に比して決算額が1,407百万円少額となっています。
- (注15) 注3に示した理由により、予算額に比して決算額が955百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究費については、予算額に比して支出が減少したため、決算額が554百万円少額となっています。
- (注17) 寄附金事業費については、予算額に比して支出が増加したため、決算額が90百万円多額となっています。
- (注18) 貸付金については、学生への貸与が見込みを上回ったため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注19) 長期借入金償還金については、利率が予算積算上と異なることによって生じる差額等により、予算額に比して決算額が65百万円少額となっています。
- (注20) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、財産処分による収入の一部を納付する予定としていましたが、注6に示した理由により、財産処分が行われなかったものです。